記入例

（別添）

旧耐震基準の木造住宅の除却における容易な耐震診断調査票

調査日時： 令和〇年〇月〇日　午前・午後　〇時
調査者氏名： 〇〇　〇〇

Ⅰ） 建築物の概要

1. 建築物の所有者： 〇〇　〇〇
2. 建築物所在地： 米原市〇〇〇〇番地
3. 階数： 〇階

Ⅱ） 前提条件の確認（いずれも必須）

該当箇所に✓

	チェック欄
木造住宅である	
昭和 56 年 5 月 31 日以前に新築の工事に着手した	

Ⅲ） 一見して倒壊の危険性があると判断できる項目

（1以上ある場合は倒壊の危険性があると判断）

該当箇所に✓

建物全体	全体又は一部に崩壊がある	
	全体又は一部に傾斜や変形がある	
地盤・基礎	地盤沈下が生じている	
	基礎がコンクリート以外（玉石、石積み、ブロック等）である	
	基礎がコンクリートであり、ひび割れや欠損が見られる	
老朽・腐朽	柱、梁、壁、土台等の構造部に白蟻の被害がある	
	柱、梁、壁、土台等の構造部に腐朽が見られる	
	柱、梁、壁、土台等の構造部に損傷や欠損が見られる	

※該当する場合はそれが分かる写真を添付

Ⅳ） 壁の割合　Ⅲ）が該当しない場合のみ記入

一見して倒壊の危険性があると判断できない場合でも、壁の割合が 0.8 未満である場合は、倒壊の危険性があると判断できるものとする。

	（イ）	（ロ）	（ハ）	（ニ）	（ホ）壁の割合
方向	壁の長さ（m）	建面（㎡）	イ／ロ	必要値	ハ／ニ
X					
Y	20	75	0. 27	0. 20	1. 35

記入例

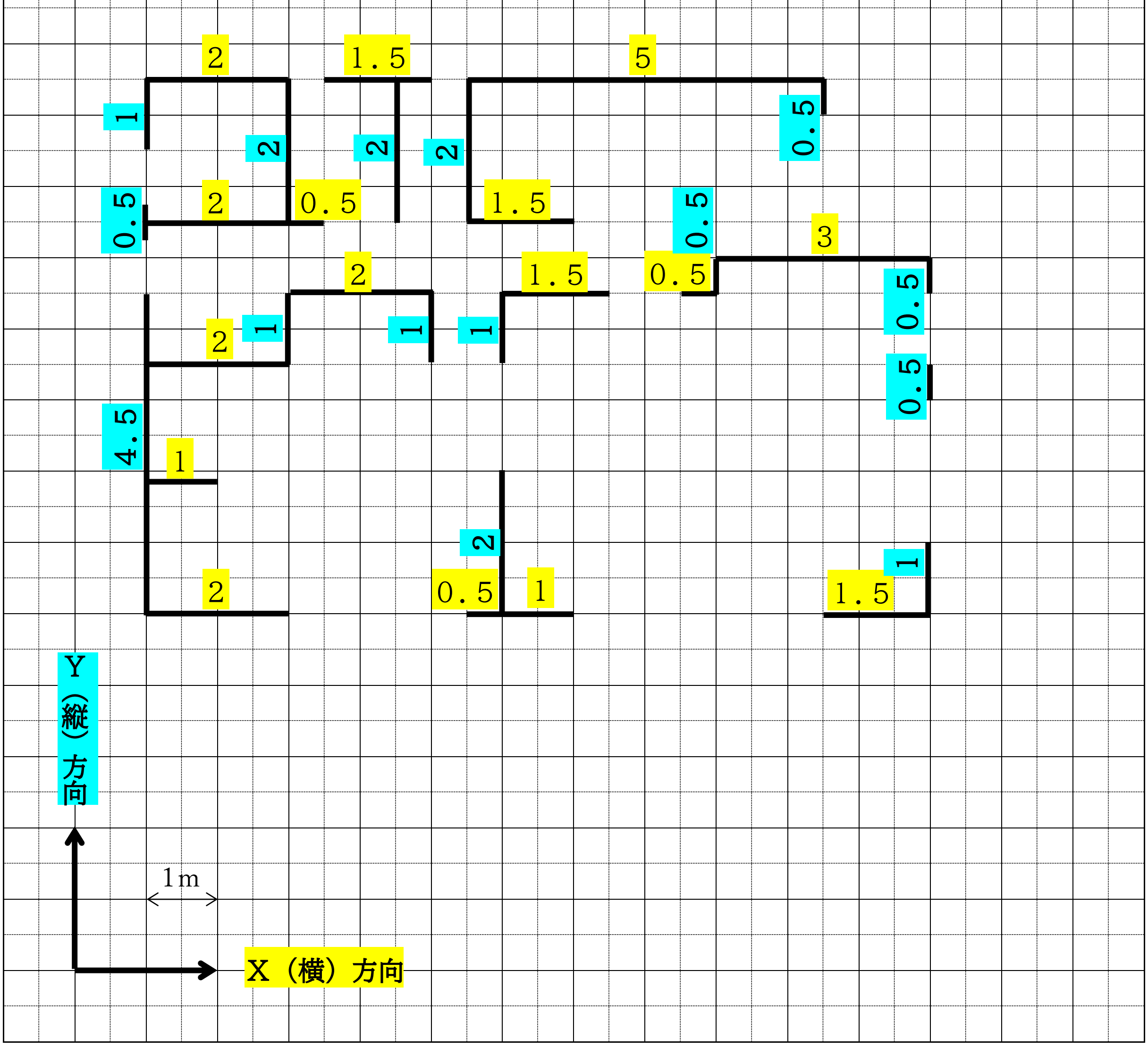
（別紙）

Ⅳ）壁の割合　記入用紙

壁の長さの計測

壁の長さを計測して記入してください。

・１cmで１ｍとして記入してください。
・５mm方眼です。
・計測した長さをそのわきに記入してください。
・窓、ふすま、障子、ドアなどの開口部は記入不要です。
・２階建ての場合は１階部分のみ記入してください。



（イ） 壁の長さの合計

① X（横）方向

①
２７．５

m

② Y（縦）方向

②
２０

m

①②のうち小さいほうを記入してください。

イ
２０

m

（ロ） 面積

ロ
７５

㎡

（ハ） 単位面積あたりの壁の長さ

イ		ロ		ハ
２０	÷	７５	＝	０．２７

（ニ） 必要な壁の長さ

ニ
０．２０

m

下の表から該当するものを選んで記入してください。

屋根の種類＼階数	平　家	２階建
軽い屋根（鉄板葺・石綿板葺・スレート葺等）	０．２０	０．５２
重い屋根（かや葺・瓦葺等）	０．２７	０．５９

（ホ） 壁の割合

ハ		ニ		ホ
０．２７	÷	０．２０	＝	１．３５